

# 安全衛生に関する課題・取組についての 事例発表

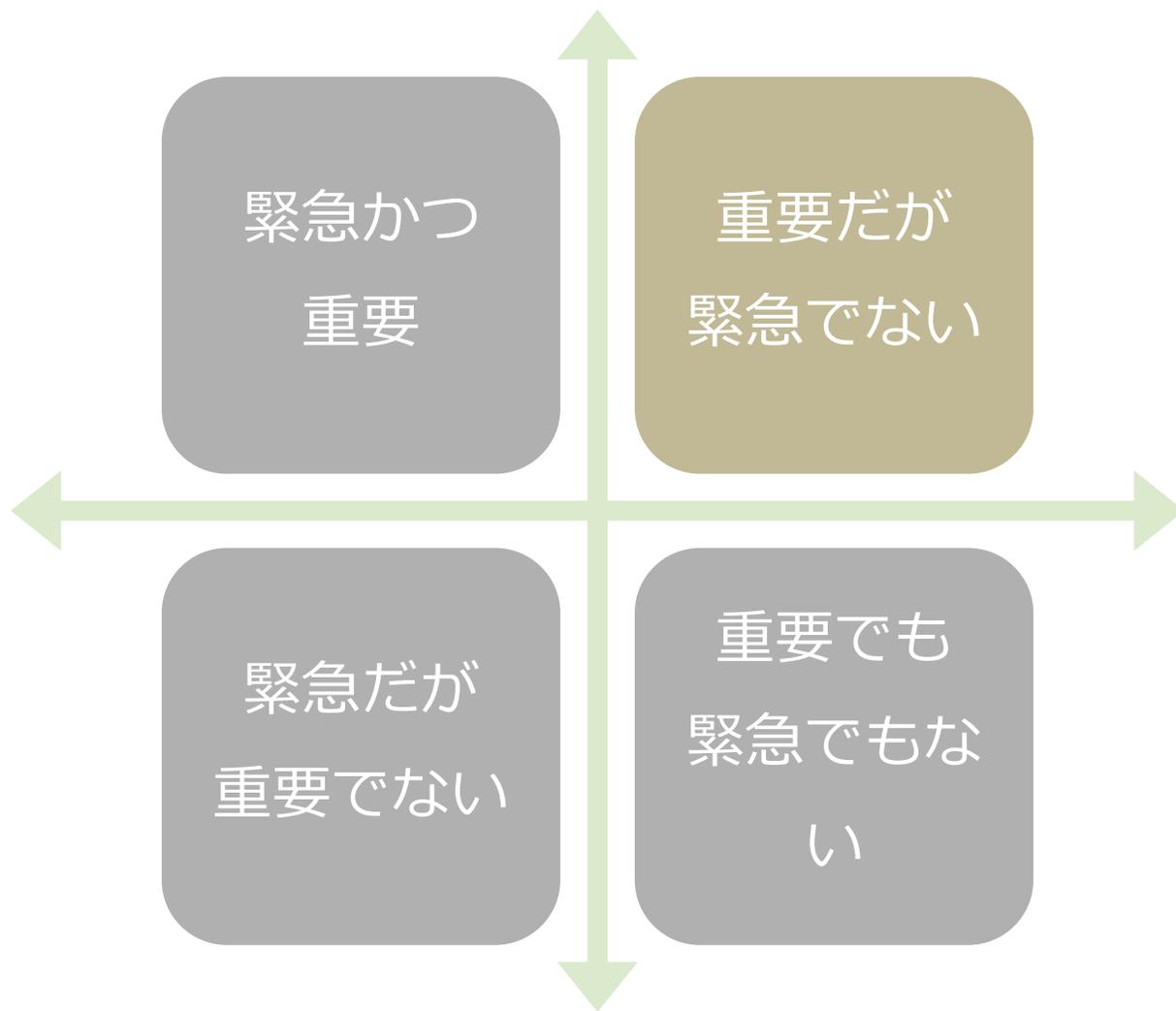
埼玉労働局SAFE育成支援の一環で中小規模事業場安全衛生サポート事業の  
アドバイスを受けて

社会福祉法人はぐくむ会  
特別養護老人ホーム飛鳥の郷 平澤祐介



埼玉労働局SAFE育成支援の一環で「中央労働災害防止協会」を紹介していただき転倒、腰痛等の行動災害についてのサポートを受ける

# 福祉施設における転倒、腰痛について



# 中小規模事業場安全衛生サポート事業の流れ

## 現場確認

- 専門職員が施設を訪問し安全衛生管理の現状を把握する

## 現場確認結果報告

- 現場確認の結果報告書を作成し施設に対し アドバイスを行う

## フォローアップ支援

- 専門職員から施設に訪問又はオンラインで安全衛生について専門家の視点から支援を実施する

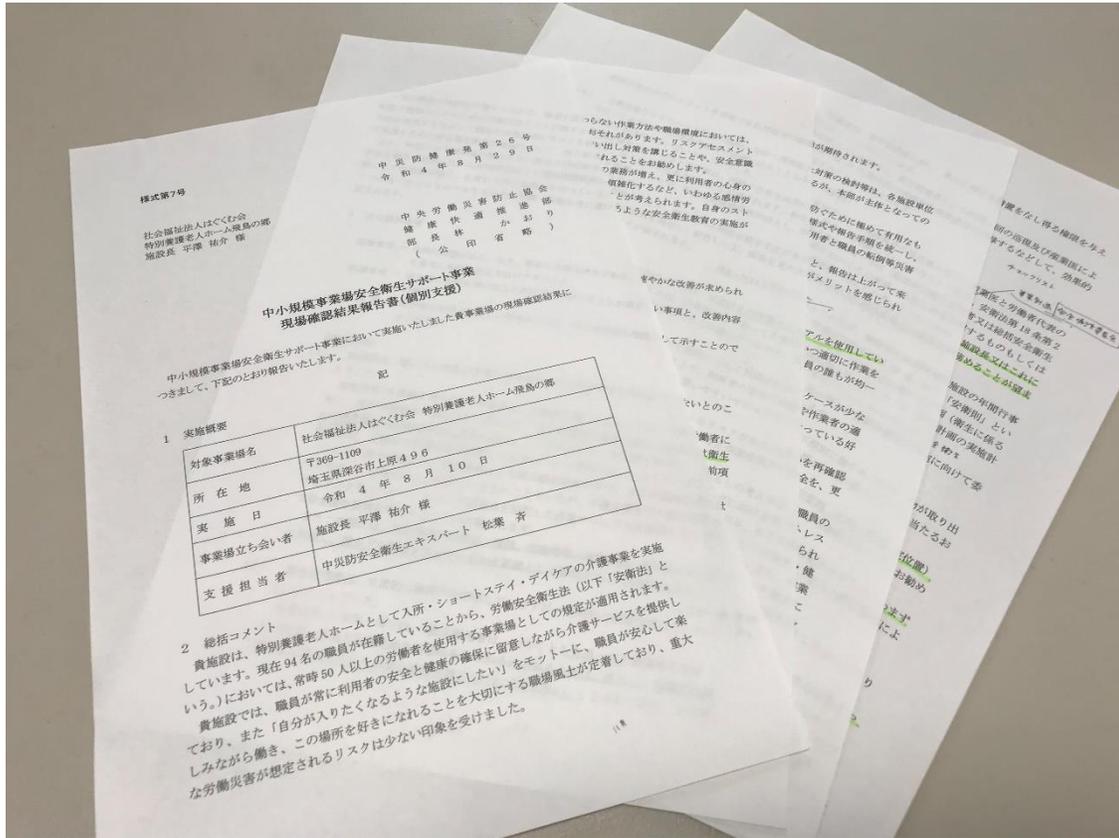
# 中小規模事業場安全衛生サポート事業の流れ①



## 現場確認

施設内を専門員が巡回して指摘事項の確認を行ってもらう予定でしたが、発熱者が数名いたことで今回は生活スペースには入らず聞き取りにて現場確認を行う。

# 中小規模事業場安全衛生サポート事業の流れ②



## 現場確認結果報告

指摘事項、改善事項、好事例に分けて結果報告を行う。指摘事項に関しては速やかに改善が必要であり、改善事項については改善内容の提案を行っていただく。

## 中小規模事業場安全衛生サポート事業の流れ③



### フォローアップ支援

フォローアップ支援に関しては現場確認結果報告書の丁寧な説明や腰痛予防に関する資料、法令に基づいて実施するチェックリストなどの提供があった。その後も取組状況などの確認なども行っていただけるとのことです。

# 現場確認結果報告書について

## 指摘事項①

労働安全衛生法第59条第1項で「事業所は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省で定めるところにより、その従事する事業に関する安全又は衛生のための教育を行わなくてはならない」

→当法人では新卒採用の職員に対しては安全衛生に関する研修を行っていたが、中途採用については安全衛生についての研修を行っていなかった。また、内容についても不足する箇所があったためアドバイスを受ける。

# 現場確認結果報告書について

## 指摘事項②

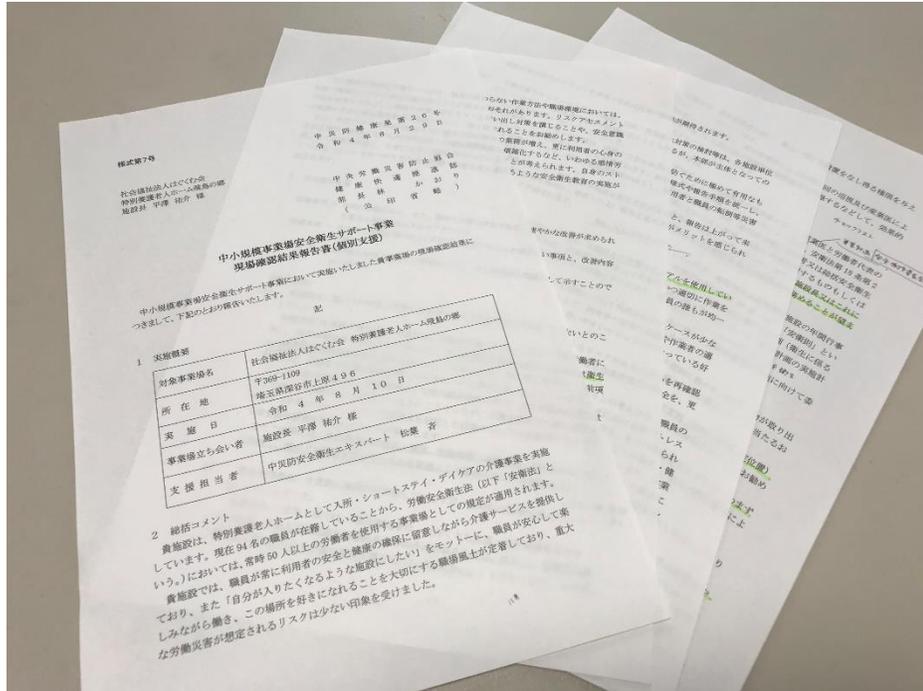
労働安全衛生規則第111条第1項で「衛生管理者は少なくとも週1回作業場等を巡視し、設備、作業方法又は衛生状態に有害のおそれがあるときは、直ちに労働者の健康障害を防止するための必要な措置を講じなければならない。

→当法人では衛生管理者が日常的に施設内を巡回しているが、定期的な職場巡視は行っていない。中央労働災害防止協会より「安全衛生活動の自主点検表」をいただき今後活用していく。

# 改善事項①

労働安全衛生規則 22条付議事項「3 安全衛生に関する計画の作成、実施、評価及び改善に関すること」「4 衛生計画の実施計画の作成に関すること」が定められている

→当法人では衛生管理者を中心にストレスチェックや健康診断など実施していたが、衛生委員会としての計画は立てていなかった。アドバイスを受け事業計画に記載するようにしていく。



## 改善事項②



大小様々な物が不規則に置かれており、地震などで棚から物が落下するなど恐れがあります。改めて5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）や3定管理（定物・定量・定位置）を再確認することをお勧めします。加えて電気コードが無造作に這っている様子がありました。転倒予防対策に取り組んでいただきたい。

→廊下や食堂など利用者の生活スペースには物置くことはないのですが浴室付近、管理棟などには転倒予防対策が出来てないことが理解できた。



## 改善事項③

床走行リフトやスライディングボードなどの移乗機器・用具があるがあまり活用できていない。リスクアセスメントによって優先的に使用する対象者や対象作業を特定し機器を使用することを組織のルールとして定めることが重要です

→当法人では3点の移乗器具がありますが、活用できておりませんでした。フォローアップ支援2回目で現場役職者との打ち合わせを行い腰痛予防対策を行っていく。

# 中小規模事業場安全衛生サポート事業の アドバイスを受けて

社会福祉施設における休業4日以上の労働災害が全業種で最大の増加率になっている。そのうち7割が転倒や腰痛などの「動作の反動・無理な動作」ということでした。

実際に話を聞いて人材確保など課題解決に繋がるものとだと認識し、早期に対応しなくてはならないことが理解できました。

現場にまかせて「なんとかやっているから大丈夫」と考えてしまいましたが、今回サポートを受けて危険な箇所が理解できたり、腰痛予防の重要性を改めて理解することができました。安全衛生対策についての資料も提供していただきましたのでそれらを活用して職員の衛生管理を行っていきたいと考えております。

サポート事業には他にも機械設備の安全化、メンタルヘルス対策、働く人の健康づくりなどもアドバイスを行っていただけるようです。

「費用は無料」と皆様の施設でも活用してみたいはいかがでしょうか。

# 社会福祉法人はぐくむ会 特別養護老人ホーム飛鳥の郷



今後も安全衛生に取り組んでいきます